

躍 動 する

# 地域エネマネ企業

## ① 福田電子(茨城県守谷市)

地域で自家消費太陽光、蓄電池、V2Hといった、再生可能エネルギーとエネルギーマネジメントシステムの導入を提案する電気工事店・施工店が増えている。既存顧客からの紹介など地域密着の強みを生かしながら、新たな領域への挑戦として、エネマネビジネスに参入しようとしている。

## 街の施工店が地域視線で構築する 法人施設・住宅用の自家消費システム

「あなたのまちの身近な電気工事店」福田電子は約10年。顧客数は個人・法人合わせて5000人を超えている。電気設備の新規設置、リニューアル、メンテナンスで創業し、地域に根差した電気



福田電子代表取締役社長・福田勝氏

見積もり依頼を受けた。県をモニタで表示する予定だ。

の補助金の対象となる10以上の設備の提案を求められ、屋根面積から11・25の蓄電池の組み合わせで受注。施工は今冬で、顧客の要望により脱炭素への貢献をアピールするたに、HEMSで接続しけたという感想が出た。

提案を経て福田勝社長は、「脱炭素に取り組むのは大企業だけではない。同じような中小企業が次々と取り組むときが間もなく来る」と手つかずのビジネスチャンスが埋まっていると、さらなる確信を持った。

脱炭素化の潮流は世界を席捲しているが、また地域では目立った動きがない。失敗も多いかもしれないが、今は種を播き「エネマネに強い施工店」という評判を確固たるものにしたい。住宅用太陽光は先行する電気工事店が多いため、今後は工場や施設の屋根上の自家消費太陽光をメインのターゲットにするつもりだ。